

夏のクマに



夏は、山の中のクマの食べ物が一年のうちで最も少ない時期です。クマが食べ物を求めて、人の生活圏に出没することがあるため注意が必要です。

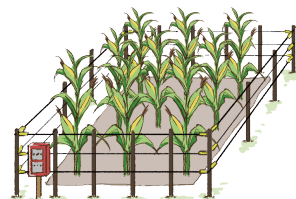
人の生活圏にクマを引き寄せない対策を

① 生ゴミは収集日の朝出す

クマはニオイにとっても敏感で、生ゴミはクマを引き寄せることがあります。生ゴミは、収集日の朝に出しましょう。漬物、廃油、油性塗料、燃料等のニオイがする物もクマを引き寄せるため、外に置かず建物の中で管理しましょう。

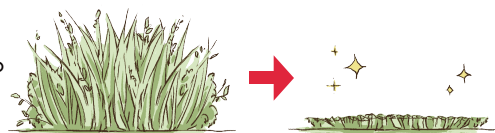
② 果樹や農作物には電気柵を設置する

クマが好む果樹(ブドウ、モモ、プルーン等)やトウモロコシ等の農作物の周囲には、電気柵を設置し、クマに食べさせないようにしましょう。



③ ヤブを刈払う

クマはヤブに身を隠しながら人の生活圏に近づきます。地域で協力して、ヤブを刈払いましょう。



クマと出会わないよう下記のことにご注意してください

朝夕の行動は避ける



朝夕はクマが活発に活動します。この時間帯に山中に入ることは避けましょう。

鈴、ラジオ、笛の携帯を



クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。人の気配を感じたクマは自ら避ける傾向があります。笛、ラジオ、クマ鈴など音の出る物を携帯しましょう。

クマの通り道になる ヤブを作らない



ヤブ等は刈払い、見通しを良くしましょう。

周囲の確認をする



釣りやキャンプで溪流沿いを移動する場合は、水の音でクマも人もお互いに気付かず、思わぬ距離まで接近してしまうことがありますので注意が必要です。

出会ってしまったら



近づかない



大声を出さない



ゆっくり後ずさり



走って逃げない
(走ると追われる危険あり)



食べ物を与えない

クマが襲ってきたら



うつ伏せで首の後ろに手を組み、防御姿勢をとりましょう(首・顔・腹を守る)。リュックサックは背中を守ることができするため、背負ったままにしましょう。

※この防御姿勢は、致命傷を避け、重傷化を防ぐための最終手段です。クマが立ち去るまで動かずに待ちましょう。

クマを目撃した場合は、
最寄りの市町村役場または警察へご連絡ください。

県のホームページのほか、クマ目撃情報マップ「けものおと2」を活用してください。



ツキノワグマ対策
について(長野県HP)



クマ目撃情報マップ
「けものおと2」